

滿洲建築協會雜誌



昭和十九年九月十五日發行(每月一回十五日發行)

第11卷第9

社団法人滿洲建築協會

礦 滓 カ ッ ト

鋪 道 煉 瓦

ホ ロ ー タ イ ル

フ エ ー ス ブ リ ッ ク

ス ク ラ ッ チ タ イ ル

カ ッ ト タ イ ル

機 械 製 煉 瓦

普 通 煉 瓦

專 賣 特 許 鐵 筋 煉 瓦

營 口 煉 瓦 製 造 所

大 連 工 場

大 連 市 管 內 西 山 會 三 春 柳 一

電 話 九 〇 九 七 番

周 水 工 場

大 連 市 管 內 周 水 屯 周 家 屯

大 連 出 張 所

大 連 市 越 後 町 二 八

電 話 三 九 〇 五 番

馬 車 配 給 所

大 連 市 財 神 街 三

電 話 七 七 五 八 番

目次

口 繪

馬場氏邸	正面外觀・日本間・應接間・各階平面圖
柴田醫院	正面外觀・裏面外觀・各階平面圖
加茂川町集合住宅	正面外觀・裏面外觀・各階平面圖

本 文

短形架構の一解法 (一)	草野美雄	(1)
北平を訪ねて米國の對支文化施設に採用せる 建築様式に就いて思ふ	岡大路	(9)
馬場氏邸新築工事概要		(16)
柴田醫院新築工事概要		(16)
加茂川町集合住宅新築工事概要		(17)
建築叢話	伊藤清造	(18)
小住宅の研討	卜藏淳良譯	(27)
陳列所のページ		(36)

會 報

新入會員、會員移動、藥料理事離滿、大澤博士歡迎會、理事協議會、建築材料陳列所開設、山本新五郎氏
離滿、小阪博通氏逝去、編輯理事會、雜報、寄贈圖書、交換圖書

編輯後記 (目次裏)

附 錄

第一回 陳列品目錄

編輯後記

□完全に一月遅れました。「敗軍の將兵を誦らず」とありますから、今回は此の慘めな運途に就いては何も申述べぬことに致します。又どうぞ聞かずに御容赦を願ひます。

□草野さんの論文は後二三回続きます。實用上の便利を主眼に同氏の實際経験による研究の發表でありますから必ず一部の方々には御參考になることと思ひます。

□岡さんの所感論文中に挿入しました北平の燕京大學と精華學校の圖版原稿は去る昭和三年三月當協會で組織しました天津北京觀察團の一行市川、渡邊の兩氏が撮影されたものゝ中から編輯子が借用したものであります。貴重な資料として此の論文を價値づける爲の取りはからひを御諒解下さい。

□伊藤さんの建築叢話は今回で一先づ完結になります。前後三回病中の同氏を煩はしましてかゝる趣味的な稿を得ましたことを深く喜びとするものであります。文中庭園に關係する論點の多かつたことは各位の知らるゝ通りであります。此の論文が内地の庭園協會の主腦部にも反響があつたらしく、一層此の金玉の稿を寄せられたる筆者に感謝し、今一度同氏の健康恢復の速かならん事を祈るものであります。

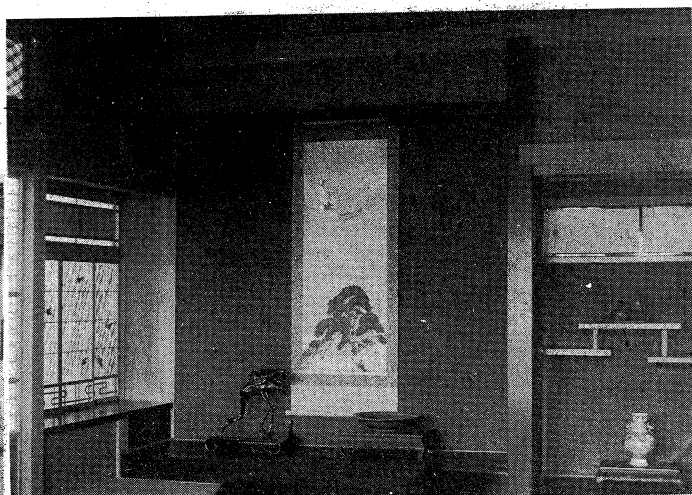
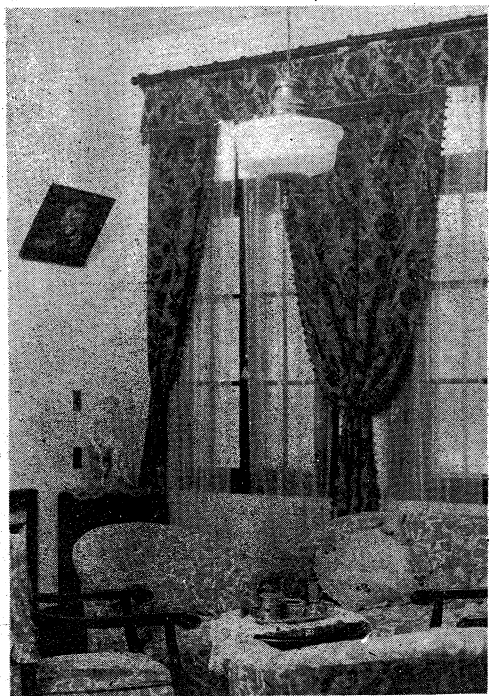
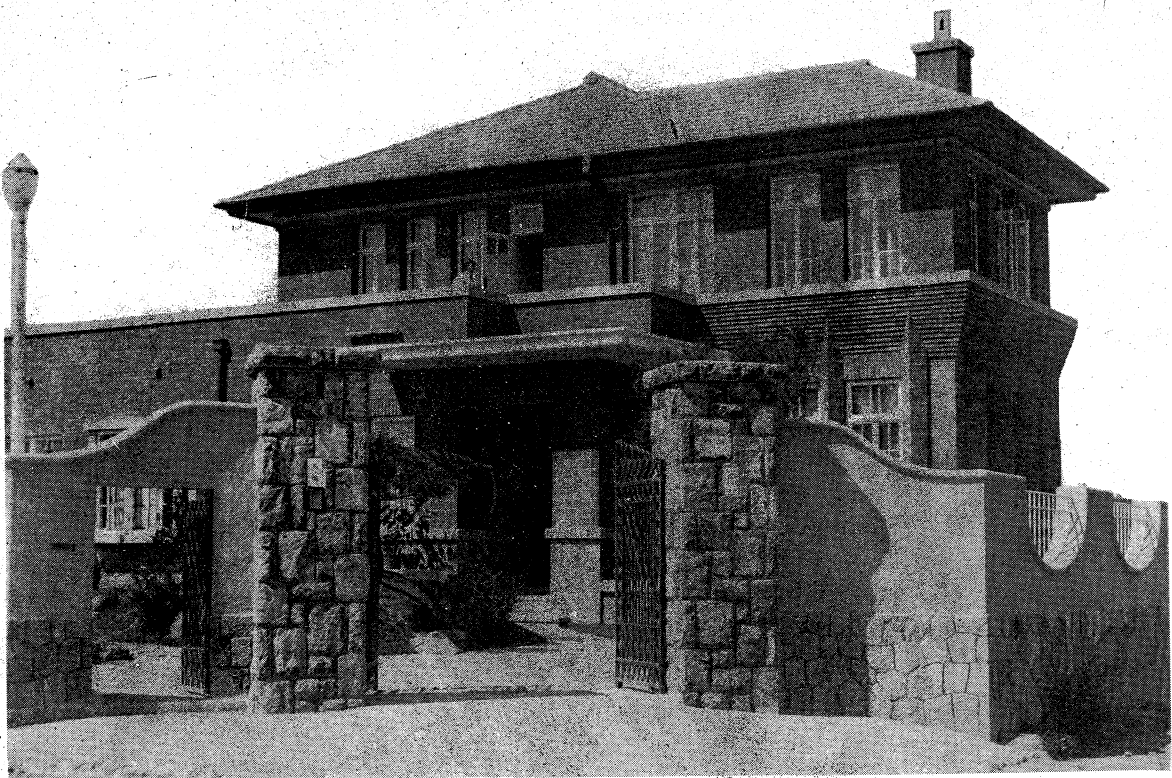
□當編輯部に於きましては過般來會員で設計業務に携はつてゐらるゝ各位に對し、其の建物の種別や大小を問はず、本誌の爲に寫眞と平面圖の提供を要望してをりますが、今回矢追、谷口、東の三建築事務所から寄せられたものを掲載致しました。民間企業の著しく盛になつて來た昨今、編輯部も亦此の大勢に順應して民間の大小諸建築の紹介に力むる用意を以て進みつゝあることを特に聲明するものであります。

□本號附録として當協會附設常設建築材料陳列所第一回陳列目錄を發行することに致しました。相當頁數になる見込みであります。十月七日編纂を完了した様な次第で本號と同時に發行は至難でありますから十月中旬配本のことには致します。

□天高肥馬の候各位の上に一層祝福豊かならんことを祈り上ます。

昭和六年十月七日

I S I D A



上 馬場氏邸 正面外觀

下 左 同 階上日本間

下 右 同 階下應接間

設計 東建築事務所
 施工 東 組